

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公表番号】特表2016-540506(P2016-540506A)

【公表日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-533639(P2016-533639)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/02	(2006.01)
C 0 7 K	16/24	(2006.01)
C 0 7 K	14/54	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
A 0 1 K	67/027	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/543	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2015.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A C
C 0 7 K	16/24	
C 0 7 K	14/54	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	1/19	
C 0 7 K	19/00	
A 0 1 K	67/027	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/543	5 4 5 A
G 0 1 N	33/543	5 7 5

G 0 1 N	33/543	5 4 1 B
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	U
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	9/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	1 0 5
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	9/107	

【手続補正書】**【提出日】**平成30年7月26日(2018.7.26)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

C 1 7 o r f 9 9 ポリペプチド遺伝子産物 (I L 4 0) に対する抗体であって、
 a) Ig G、Ig M、Ig A、Ig DまたはIg E；
 b) モノクローナル抗体；
 c) F a b'、F a b、F (a b')₂、シングルドメイン抗体 (s d A b)、F v または
 s c F v (単鎖 F v)；
 d) 標識抗体；または
e) a) ~ d) の任意の組み合わせである、

抗体。**【請求項2】**活性化B細胞が関与する疾患の治療にて使用するための、請求項1に記載の抗体。**【請求項3】**活性化B細胞が関与する疾患の診断にて使用するための、請求項1に記載の抗体。**【請求項4】**前記疾患は、リンパ腫、白血病、免疫不全または自己免疫疾患である、請求項2または3に記載の抗体。**【請求項5】**前記疾患は、全身性エリテマトーデス、リウマチ性関節炎または乾癬である、請求項2

または 3 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記疾患は、IgA欠損症候群である、請求項 2 または 3 に記載の抗体。

【請求項 7】

前記疾患は、リンパ腫である、請求項 2 または 3 に記載の抗体。

【請求項 8】

活性化 B 細胞が関与する疾患の治療にて使用するための、IL40 のアミノ酸配列の一部若しくは全部、または IL40 の成熟形態を含むペプチドまたは単離タンパク質であって、該ペプチドまたはタンパク質は IL40 アゴニストである、ペプチドまたはタンパク質。

【請求項 9】

活性化 B 細胞が関与する疾患の診断にて使用するための、IL40 のアミノ酸配列の一部若しくは全部、または IL40 の成熟形態を含むペプチドまたは単離タンパク質であって、該ペプチドまたはタンパク質は IL40 アゴニストである、ペプチドまたはタンパク質。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質であって、

a) IL40 の配列変異型、多形体または種対応物；

b) IL40 の置換変異型、挿入変異型または欠失変異型；

c) 以下からなる群から選択される IL40 の非配列誘導体；

グリコシリ化修飾 IL40 、化学修飾 IL40 及び IL40 抱合体；

d) IL40 の機能的変異型；

e) IL40 の機能的セグメント、IL40 の保存領域、または IL40 の非保存領域

；

f) IL40 の融合タンパク質；または

g) a) ~ f) の任意の組み合わせである、

ペプチドまたはタンパク質。

【請求項 11】

前記疾患は、リンパ腫、白血病、免疫不全または自己免疫疾患である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 12】

前記疾患は、全身性エリテマトーデス、リウマチ性関節炎または乾癬である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 13】

前記疾患は、IgA欠損症候群である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 14】

前記疾患は、リンパ腫である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 15】

活性化 B 細胞が関与する疾患の治療にて使用するための、IL40 遺伝子または IL40 cDNA のヌクレオチド配列の一部または全体を含む、核酸。

【請求項 16】

活性化 B 細胞が関与する疾患の診断にて使用するための、IL40 遺伝子または IL40 cDNA のヌクレオチド配列の一部または全体を含む、核酸。

【請求項 17】

IL40 のアミノ酸配列の一部若しくは全部、または IL40 の成熟形態を含むペプチドまたは単離タンパク質をコードする、請求項 15 または 16 に記載の核酸。

【請求項 18】

請求項 15 または請求項 16 に記載の核酸であって、

a) 別のヌクレオチド配列、標識または化学的誘導体に共役結合される；

- b) プライマー、プローブ、アンチセンス分子、または I L 4 0 遺伝子または I L 4 0 c D N A 配列をベースとしたオリゴヌクレオチドである；
- c) 異種核酸配列に付着した組換え型構造体である；または
- d) a) ~ c) の任意の組み合わせである；

核酸。

【請求項 19】

前記疾患は、リンパ腫、白血病、免疫不全または自己免疫疾患である、請求項 15 または 16 に記載の核酸。

【請求項 20】

前記自己免疫疾患は、全身性エリテマトーデス、リウマチ性関節炎または乾癬である、請求項 15 または 16 に記載の核酸。

【請求項 21】

前記疾患は、I g A 欠損症候群である、請求項 15 または 16 に記載の核酸。

【請求項 22】

前記疾患は、リンパ腫である、請求項 15 または 16 に記載の核酸。